

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyar@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 真治
幹事 兵藤 文男
会報委員長 山下 雅則

2015 ~ 2016年度 国際ロータリー K.R. ラビンドラン 会長テーマ

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2905回例会プログラム

[当年度=15回目；当月=2週目]

2015年（平成27年）11月9日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 1. 点鐘……………〈会長〉
2. 開会宣言
3. ロータリーソング斉唱……………我等の生業
4. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
5. 会長挨拶並びに会長報告
6. 幹事報告
7. 出席報告
8. 委員会報告
9. ニコニコボックス報告
10. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/16) ……
クラブフォーラム（ロータリー財団委員会）
卓話 「ロータリー財団の今と戦略計画」
講師 地区ロータリー財団委員会
委員長 鈴木 文勝 様
(紹介者 中林 久美 会員)
※健康診断
(11/23) ……
休 会（法定休日）

2. クラブフォーラム……………〈環境保全小委員会〉

- 12:20 卓話 「ポリオ撲滅まであと少し」
講師 地区ロータリー財団資金推進委員会
委員長 久米 博明 会員

- 卓話 「環境への取組について」
講師 角文株式会社 鈴木文三郎 会員
小林クリエイティブ株式会社 小林 祥浩 会員
株式会社豊田自動織機 石川 覚雄 会員
カリモク家具株式会社 加藤 英樹 会員
トヨタ車体株式会社 浅岡 幸雄 会員
中部電力株式会社 後藤 直樹 会員
株式会社豊電子工業 盛田 豊一 会員

株式会社デンソー 岩瀬 正人 会員
アイシン精機株式会社 堀田 昌義 会員
トヨタ紡織株式会社 三吉 茂俊 会員
(紹介者 小澤 陽一 会員)

11. 謝 辞
12. 諸事ご案内〈幹事〉
13. 点鐘……………〈会長〉

- 13:00 14. 閉会宣言
13:00~15. 食 事
16. 散 会

出席

会員総数 96名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 79名
欠 席 8名 出席率 92.41%
前々回 (10/26) の修正出席率 100%

委員会報告

●職業奉仕委員会

- 1) 毎年春におこなっていた健康診断を来週11時より
おこないます。よろしく願い致します。

会長あいさつ

刈谷 RC のロータリーデー

加藤 真治



デーです。

この国際ロータリーの意向を受け、私たちの地区は昨年度から「ワールドフードふれ愛フェスタ」をジャパン

ロータリーリーダーとして開催しています。

刈谷ロータリークラブも今年度は、ここ刈谷ハイウェイオアシスにてロータリーリーダーとして、WHO（世界保健機関）、ユニセフ、アメリカ疾病管理予防センターとロータリーが30年近くにわたってポリオ撲滅の取り組みと成果を展示すると共に、募金活動を午前11時から午後2時まで実施しています。

また、担当が環境保全小委員会ですので、あわせて刈谷ロータリークラブの会員企業のなかで環境保全に先進的に取り組んでおられる角文(株)、小林クリエイティブ(株)、(株)豊田自動織機、カリモク家具(株)、トヨタ車体(株)、中部電力(株)、(株)豊電子工業、(株)デンソー、アイシン精機(株)、トヨタ紡織(株)の10社をパネル展示し、広報しようとしています。

ポリオ撲滅の取り組みとその成果につきましては、久米会員から卓話ありますし、また10社の方々取り組みにつきましても、それぞれ発表されますので、ご静聴をお願い致します、会長あいさつと致します。

クラブフォーラム

卓話 ロータリーリーダー「ポリオ撲滅」 “ポリオ撲滅まであと少し”

2760地区ロータリー財団委員会
久米 博明 会員



本日はロータリーリーダーの例会にて「ポリオ撲滅」について卓話をさせていただきます。

国際ロータリーでは2007年の規定審議会にて「ポリオ撲滅」を最優先プロジェクトとして確認され、以後2008年よりゲイツ団体との「1億ドルのチャレンジングランド」によるパートナーシップでの募金活動がスタートし、2012年には「2億ドルチャレンジ」を達成。そして、2013年の4月に世界ワクチンサミットにて「ポリオ撲滅・エンドゲーム戦略計画」が立案されました。新計画実施には推定で55億ドル必要とされ、40億ドルの資金投入が誓約されましたが、まだ5億ドルが不足しています。

国際ロータリーは、「END POLIO NOW：歴史に1ページを刻もう」キャンペーンを展開して、毎年3,500万ドルの寄付を確約しました。またゲイツ財団はロータリーの寄付に対し2倍の毎年7,000万ドルを上乗せするパートナーシップの拡大を発表しました。2013年～18年の5年間で、合計5億2,500万ドルの募金を目標に掲げ、2018年の「地球上からポリオ撲滅宣言」を目指します。

「未来の夢計画」は2013-14年度から世界展開が始まり、世界中が新しいシステムの中でロータリーの果たす役割の重要度が増してまいります。そして「クラブのサポートと変化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という3つの項目を柱としたロータリー戦略計画を支えるために、2015年度より始まる3年間のロータリー財団の優先項目が提案され、その優先項

目1に「永久にポリオを撲滅する」とあります。具体的目標としては、①野生ポリオウイルスによる新たな発症例をなくす、②毎年3,500万ドルのポリオ撲滅への寄付を確保し、ゲイツ財団のチャレンジに応える、③ポリオ撲滅におけるロータリーの役割について周知を図る、④他の人道的プログラムにも同じようなアドボカシーを取り入れることを視野に、ポリオ撲滅におけるロータリーのアドボカシーを見直す。

2014年にインドがポリオの撲滅宣言を行い、2015年9月にはWHOはナイジェリアがポリオの常在国から外されたことを公式に発表しました。今、世界のポリオ常在国はアフガニスタンとパキスタンの2か国になりました。しかもこの2か国も今年に入ってから昨年の十分の一と激減しております。もしポリオの再流行が起これば、2022年までに毎年20万人の子供が感染し、総額110億ドルの投資資金が無駄になります。今、ポリオ撲滅が達成できれば、2035年までに世界で400～500億ドルを節約することができます。ポリオのない世界まで本当に“あと少し”です。ロータリー財団ポリオ撲滅活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

Welcome Note

刈谷ハイウェイ・オアシスをご利用の皆さん。こんにちは「刈谷ロータリークラブ」です。

ここに展示してあるパネルは、すべて当クラブ会員会社の「環境への取組み」を表したもので、当クラブ「ロータリーリーダー」の一環として、掲示しています。各企業の成果を是非ご覧ください。又少し広報をさせていただきますと・・・

Q1. ロータリークラブって何でしょう？

1905年にシカゴで職業倫理・奉仕の機会・親善を目的に誕生
2014年10月統計で200以上の国で、34000クラブ、120万人の会員数
日本では1920年誕生、2014年12月現在2278クラブ、88460人の会員数
刈谷は1954年(日本で118番目)に誕生、2015年10月で96人の会員数

ロータリーの使命
Mission of Rotary International

国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することである。

Q2. 刈谷ロータリークラブはどんな活動をしていますか？

19の委員会を作り、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・環境保全等
地域社会への奉仕を奨励し、会員相互の研鑽や友情を育む為に、広報・プログラム・親睦・クラブ会報・研修情報・職業分類等の活動を行っています。

Q3. 刈谷ロータリークラブの具体的な地域との関わりは？

東日本震災基金を活用して宮城県への支援・青少年交換学生への援助・カキツバタ支援・わんさか祭り協賛・学校訪問コンサート実施・刈谷市図書館のロータリー文庫の寄贈。

Q4. 「ロータリーリーダー」とはなんですか？

本年は刈谷ハイウェイ・オアシス内で
①「あと少しのポリオ撲滅」を達成させる「ポリオ撲滅」募金の実施(11/9)
②刈谷ロータリークラブ会員会社の環境への取り組み姿をご覧頂き、環境問題への関心を高めるべくパネル展示(11/9～15)を行う事によって、刈谷ロータリークラブの日頃の活動内容を広く知って頂く為の広報活動です。

Rotary

Environmental Initiatives

AISIN

地域と共に創りあげる持続可能な環境活動フィールド～アインエコトピア～

■ 自然共生

・高品質な自然環境を確保し、自然環境の保全・回復を図る
・自然環境の保全・回復を図る
・自然環境の保全・回復を図る

■ 自然共生

・高品質な自然環境を確保し、自然環境の保全・回復を図る
・自然環境の保全・回復を図る
・自然環境の保全・回復を図る

1. 背景・目的

2. アインエコトピアのネットワーク

2-1. エコセンター

2-2. ビオトープ

2-3. 水族館との協業による生物多様性活動

「アインエコトピア」を危険分野の観点から、2014年5月より
当社、ビオトープで生態系保全活動 ※西尾市、豊田市では市の天然記念物として指定
専門家のアドバイス → 生物多様性の改善
地域・企業連携 → 生物多様性の改善
協働

私たちにとって、「身近な命」となり、滅亡危機を脱ぐ
ことになることを最終目標とし、現在、保全・育成中

Environmental Initiatives

トヨタ紡織株式会社

サステナブル・プラント活動

トヨタ紡織は、「サステナブル・プラント」活動を推進しています。
「サステナブル・プラント活動」は、従来より取り組んでいる「資源」「リサイクル」「環境」「社会」に加え、「自然」も活用し、自然と調和する工場づくりを目指して活動しています。以下3つのテーマで地球環境保護にますます貢献していきます。

エコイノベーション

高効率な設備・設備工などの省エネルギーや
従来の設備からの省エネルギーによる、環境的な省エネルギー
活動の展開に取り組んでいます。

エココミュニケーション

工場内での省エネルギー推進、自然と共生・調和
とつながりをもつ「人づくり」の場の提供に
取り組んでいます。

エコエネルギー

太陽光・風力などの自然エネルギーやバイオエタノールなどの
再生可能エネルギーの活用によるCO2削減に
取り組んでいます。

<サステナブル・プラント活動の概要>

1. 風力発電 (ハイブリッド型)

太陽光パネルと風力発電を組み
合わせたCO2削減効果
5t-CO2/年
⇒0.4t-CO2/年 x13台

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
削減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 太陽光発電

太陽光パネル表面に雨水取留を
設け、発電時のパネル温度による
効率低下を防いでいます
120t-CO2/年

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
削減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 屋上緑化

屋上を緑化することにより、緑化
土壌が断熱材となり、空調負荷を
低減しています
5t-CO2/年

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
削減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4. 地中熱空調利用

地中3mに埋設型「パイプ」を埋める
ことにより、年間を通して一定の
15℃である地中熱を利用し、空調負荷を低減しています
1t-CO2/年

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
削減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5. 高効率水蓄熱空調システム

超高効率のターボ式冷凍機を使い、
電力消費の少ない稼働に冷水を
水蓄熱装置に蓄積し、夜間の電力消費を
大幅に低減しています
100t-CO2/年

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
削減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

6. テナ材の自動車部品製品化

成長が早く二酸化炭素の吸収能力
が高い植物材料「テナ」に注目し、
種子・栽培技術開発から自動車部品
生産まで全てを事業化しています。
LCAでの削減量 300t-CO2/年
ALCA: Life Cycle Assessment

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
削減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ポリオ（小児マヒ）撲滅募金

